

平成22年度 目黒区立第三中学校 学校評価のまとめ

平成23年2月22日

評価項目・指標	学校評価の結果	自己評価の結果	学校評価委員会の意見	次年度の教育課程の改善
学校教育への満足度 ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度等	生徒・保護者ともに80%が肯定的な評価をしている。学校教育への満足度は高いと言える。	生徒の評価結果を見ると、学年により満足度に差がある。満足度の低い学年については原因を分析し対応を図る。	授業を見ると大変落ち着いている印象を受ける。校内もきれいで明るい雰囲気がする。	信頼関係を基盤とした指導・対応をさらに図っていく。規律ある生活を確認し、学習・生活面での充実度を高める。
教育課程 ・教育目標、教育課程の編成や実施の状況等	保護者からは85%の肯定的な評価だった。生徒の教育目標、学年目標の理解度は75%であった。	昨年度より上がった。教育目標は次年度も継続していく。理解するだけでなく、進んで実践する態度が必要である。	教育目標は素晴らしいと思う。重点項目を決めるなど、生徒たちに定着するよう工夫してほしい。	4つの目標のうち「思いやりのある人になろう」「自ら考え、行動できる人になろう」に力を入れていく。
学習指導・進路指導 ・授業時数の量的拡大、授業の改善・充実、 ・学力の定着・向上、職場体験の実施等	・学力の定着・向上、授業の雰囲気について保護者から67%の肯定的な評価、授業の分かりやすさ、工夫について生徒からは80%の肯定的な評価であった。授業規律の面では57%となり17%低くなった。 ・ボランティア活動、職場体験などの体験的な学習について生徒・保護者の評価を平均すると82%の肯定的な評価であった。 ・将来の進路や生き方についての指導については肯定的な評価が68%となり、昨年度より8%上がった。	・1, 2年生の規律面での評価が低い。意識していることをプラスにとらえ、指導を強化する。指導者側にも生徒が主体的に課題に取り組む授業や活動のある授業を工夫する必要がある。 ・職場体験や自然宿泊体験教室、ボランティア活動は良好な人間関係づくり、地域との交流など生きた学習となっている。今後も充実を図る。 ・3年間を見通した計画的な進路について指導した結果、生徒評価は75%となり、昨年度より16%上がった。	少人数授業、チームティーチングなど工夫している様子がうかがえた。落ち着いて学習に取り組んでいる様子である。受け身ではなく、自分から進んで学習に取り組む意欲を育ててほしい。放課後学習教室など保護者に周知し、もっと活用できるとよいのではないかと。 ・ボランティア活動をさらに充実させてほしい。職場体験、職場訪問などで地域との交流も深めてほしい。 ・1年生の時から計画的な進路指導が必要だと思う。これからは継続してほしい。	・すべての教科で言語活動を意識した指導の充実を図る。指導法の工夫・改善は常に課題であり、日常的な研修をとおして、学校全体として組織的に授業力の向上を図っていく。 ・一つ一つの体験的な活動の意義や位置付けを全体的な教育活動の中で明確にし、他の教育活動との関連を図る。事前・事後学習を充実させ、日常の教育活動につなげる。 ・進路指導は「生き方の指導」ととらえ、さらに3年間を見通した指導を意識して充実させていく。

評価項目・指標	学校評価の結果	自己評価の結果	学校評価委員会の意見	次年度の教育課程の改善
生活指導 ・いじめや不登校の現状と対応、安全指導等	「仲良く学校生活を送っているか」という設問では生徒・保護者とも86%以上の肯定的な評価であった。安全についても平均77%の高い評価であった。	昨年度同様、長期休業明けを「ふれあい月間」とし悩みやいじめのアンケートを実施し一人一人に声かけを行った。つまずきの早期発見・早期対応に努め成果をあげた。	いじめアンケートなどを活用して生徒の様子をきめ細かく把握している様子がうかがえる。いじめに対しての取組を今後も継続してほしい。	引き続き長期休業明けを「ふれあい月間」とする。アンケート等を実施し生徒との信頼関係を深めていく。スクールカウンセラーとの連携や活用をさらに図っていく。
心の教育 ・道徳の授業の充実や児童・生徒の道徳的实践力等	道徳の授業を含め、思いやりの心や命の大切さについて肯定的な評価が生徒・保護者平均83%という高い評価であった。	道徳授業を水曜日5校時に設定した結果、確実に時数が確保できた。人権教室、人権標語づくり等とも関連させ、成果を上げている。	人権についての取組、講演会などがあって大変よい。道徳授業を継続して行っていく必要があると思う。F組との交流もよい。	本校の授業スペシャリストを活用し、道徳授業の内容の充実を図る。都人権尊重教育推進校として人権教育に計画的に取り組んでいく。
健康促進・体力向上 ・運動の機会の充実、食育や家庭への啓発等	肯定的な評価が生徒80%、保護者71%であり、昨年度とほぼ同じ評価であった。	学校歯科医による「歯の健康教室」を実施し給食後の歯磨きを推奨した結果、1年生で歯を磨く生徒が増えてきた。	規則正しい生活習慣を家庭と連携して身に付けさせてほしい。健康、体力は学力の基盤である。	学力の基盤は規則正しい生活、健康、体力ととらえ、家庭とも連携し、基本的な生活習慣の確立に努めていく。
特別活動 ・学校行事の充実、クラブ・部活動の活性化等	学校行事については生徒・保護者とも85%以上の肯定的な評価であった。部活動の満足度は生徒70%、保護者59%であった。生徒は約10%アップした。	学校行事は大きな成果をあげているので引き続き充実させていく。部活動については外部指導員、保護者の方を全体で約13名確保し、協力をお願いした。	部活動について工夫している様子がうかがえた。指導する先生方の負担も大きいので、今後も外部指導員の確保と活用に努めてほしい。地域も協力したい。	部活動について今後も生徒の希望にできるだけ応えるようにしていく。さらに地域や家庭からの応援・協力をお願いし、学校と三者で協力体制を作っていく。
保護者や地域との連携 ・学校の情報発信や学校・地域との協働体制の整備等	保護者の協力については68%、学校の情報提供については約78パーセントの肯定的な評価であった。ホームページが好評であった。	「見守りメール」で必要な学校情報を流した。夏以降、ホームページを毎日更新した。「学校だより」とともに高い評価をいただいたと思う。	「見守りメール」、ホームページなど努力している様子がうかがえる。今後もさらに信頼される学校を目指してほしい。	今後も情報の発信に努め、信頼される学校を目指す。保護者会などはできるだけ月末を避け、参加しやすい日に設定する。

